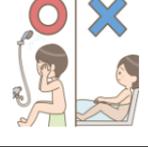


人工股関節置換術を受けられる方へ（入院診療計画）

作成日: _____
 主治医(担当医): _____
 看護師: _____

済生会横浜市南部病院

下記のようなスケジュールにそっての入院生活になる予定です。病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

月日 項目	入院日・手術前		手術日			手術後						
	外来	手術前日 (月 日)	手術前	手術中	手術後	術後1日目	2日目	3~6日目	7日目	10日目	退院日	
食事	・制限はありません 	・24時以降、食べ物は摂れません ・水分摂取に関しては、麻酔科医師の指示のもとで終了時間をお知らせします	・食べ物は摂れません ・飲水に関しては、終了時間をお知らせします		・吐き気がなければ、手術後6時間後より飲水が可能になります。食事はとれません	・朝から食事を再開します						
安静度 清潔		・入浴を行います (可能でしたら入院前に自宅で入浴をお済ませください)			・ベッドの上で寝たまま安静を保ちます。痛みに合わせて頭部を上げることが可能です	・体を看護師と一緒に拭いて、清潔を保ちます 		・医師が傷を確認後、傷を保護してシャワー浴が出来ます 		・医師が傷を確認後、保護せずシャワー浴が出来ます		
内服 注射	・内服薬について、薬剤師または看護師が説明します ・中止薬がある場合は医師もしくは薬剤師の指示通りに中止してください	・普段飲んでいる薬は必ず持参してください(入院時に薬剤師が確認します) 	・普段の内服薬は指示があります ・手術室で点滴を開始します (手術時間によっては、病室で点滴を開始する場合があります)		・手術後も点滴を続けます 	・朝と夕に抗生剤の点滴があります ・普段飲んでいる薬を再開します ・痛み止めの内服が開始になります	・朝のみ抗生剤の点滴があります					
検査	・手術に必要な、血液検査・心電図検査・胸部レントゲン撮影などを行います	・血液検査を行います 			・血液検査を行います	・血液検査を行います				・朝、血液検査があります ・日中にレントゲン撮影を行います		
処置 観察		・氏名入りバンドをつけます ・手術部位の確認を、医師と看護師が行います	手術前に、指輪、時計、補聴器、義歯、ヘアピン等金属類を外します ・看護師が渡した手術着に着替えます ・血栓予防のために弾性ストッキングをはきます 	・手術室では担当の看護師が説明と処置を行います ・手術前に自己血を貯血した場合は、手術中または手術後に自己血の返血をします	・心電図モニターを装着します ・必要時、酸素をすることがあります ・手術中に尿の管を入れます ・血腫予防のための管が手術部位に入ります ・手術後は病状観察を看護師が数回行います ・痛みが治まらない時は、適時痛み止めを使用します ・両足に血栓予防のためにマッサージの機械を装着します	・足のマッサージの機械は自力でベッドから離れて過ごせるようになるまで、臥床時は装着します ・動けるようになったら外すことが可能です ・トイレまでの移動が可能になるか、または車いすに乗れるようになったら、尿の管を抜きます ・歩行が可能になったら弾性ストッキングを脱ぐことができます	・血腫予防のための管を医師が抜きます ・創部のドレッシング剤を医師が交換します		・保護剤が汚染した場合は適宜交換します	・創部のドレッシング剤(テープ)をはがします	・氏名入りバンドを外します	
リハビリ (病棟)		・理学療法士が手術前の状態(関節の動きや筋力、歩行状態など)を確認します 				・状態により下肢の筋力訓練を始めます 理学療法士が病室に伺います ・痛みの状況で車いすへの移動、または歩行を開始します	・状態に合わせて、日常生活の訓練を行います					
説明	・医師より手術について説明があります ・入院の準備について、入退院支援センターの看護師より説明があります 	・病棟看護師よりパンフレットを用いて入院生活について説明があります ・手術説明・同意書と、手術必要な物品の確認を行います ・手術時間と家族の方の来院時間は入院時にお伝えします ・麻酔科の医師より説明があります ・手術室の看護師より病棟で説明があります								・退院後の日常生活について看護師より説明があります 	・次回外来受診日について看護師より説明があります ・退院時間は午前10時から11時ごろを予定しています ・入院費は後日郵送でお知らせいたします(退院時のお支払いはございません)	

* 入院時に、この用紙をご持参ください。

人工膝関節置換術を受けられる方へ（入院診療計画）

作成日: _____
 主治医(担当医): _____
 看護師: _____

下記のようなスケジュールにそっての入院生活になる予定です。病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

済生会横浜市南部病院

月日 項目	入院日・手術前		手術日			手術後						
	外来	手術前日 (月 日)	手術前	手術中	手術後	術後1日目	2日目	3~6日目	7日目	10日目	14日目 (術後2週目)	退院日
食事	・制限はありません 	・24時以降、食べ物は摂れません ・水分摂取に関しては、麻酔科医師の指示のもとで終了時間をお知らせします	・食べ物は摂れません ・飲水に関しては、終了時間をお知らせします		・吐き気がなければ、手術後6時間後より飲水が可能になります	・朝から食事を再開します						
安静度 清潔		・入浴を行います (可能でしたら入院前に自宅で入浴をお済ませください)			・ベットの上で寝たまま安静を保ちます	・体を看護師と一緒に拭いて、清潔を保ちます 		・医師が傷を確認後、傷を保護してシャワー浴が出来ます 	・医師が傷を確認後、保護せずシャワー浴が出来ます			
内服 注射	・内服薬について、薬剤師または看護師が説明します ・中止薬がある場合は医師もしくは薬剤師の指示通りに中止してください	・普段飲んでいる薬は必ず持参してください(入院時に薬剤師が確認します) 	・普段の内服薬は指示があります ・手術室で点滴を開始します (手術時間によっては、病室で点滴を開始する場合があります) 		・手術後も点滴を続けます 	・朝と夕に抗生剤の点滴があります ・普段飲んでいる薬を再開します ・痛み止めの内服が開始になります	・朝のみ抗生剤の点滴があります					
検査	・手術に必要な、血液検査・心電図検査・胸部レントゲン撮影などを行います	・血液検査を行います 			・血液検査を行います	・血液検査を行います			・朝、血液検査があります ・日中にレントゲン撮影を行います		・朝、血液検査があります ・日中にレントゲンがあります	
処置 観察		・氏名入りバンドをつけます ・手術部位の確認を、医師と看護師が行います	手術前に、指輪、時計、補聴器、義歯、ヘアピン等金属類を外します ・看護師が渡した手術着に着替えます ・血栓予防のために弾性ストッキングをはきます 	・手術室では担当の看護師が説明と処置を行います ・手術前に自己血を貯血した場合は手術中または手術後に自己血の返血をします	・心電図モニターを装着します ・必要時、酸素をすることがあります ・手術中に尿の管を入れます ・血栓予防のための管が手術部位に入ります ・痛みが治まらない時は、適時痛み止めを使用します ・手術後は病状観察を看護師が数回行います ・両足に血栓予防のためにマッサージの機械を装着します 	・CPM(膝の曲げ伸ばしをする機械)を退院まで毎日行います ・膝の腫れや熱感がある場合は患部を冷やします ・足のマッサージの機械は自力で座れるようになるまで続けます 	・血腫予防のための管を医師が抜きます ・創部のドレッシング剤を医師が交換します ・トイレまでの移動が可能になるか、または車いすに乗れるようになったら、尿の管を抜きます			・創部のドレッシング剤(テープ)をはがします	・氏名入りバンドを外します	
リハビリ (病棟)		・理学療法士が手術前の状態(関節の動きや筋力、歩行状態など)を確認します 				・状態により下肢の筋力訓練を始めます 理学療法士が病室に伺います ・痛みの状況で車いすへの移動、または歩行を開始します	・状態に合わせて、日常生活の訓練を行います					
説明	・医師より手術について説明があります ・入院の準備について、入退院支援センターの看護師より説明があります 	・病棟看護師よりパンフレットを用いて入院生活について説明があります 手術説明・同意書と、手術必要な物品の確認を行います ・手術時間と家族の方の来院時間は入院時にお伝えします ・麻酔科の医師より説明があります ・手術室の看護師より病棟で説明があります									・退院後の日常生活について看護師より説明があります。 	・次回外来受診日について看護師より説明があります ・退院時間は午前10時から11時ごろを予定しています ・入院費は後日郵送でお知らせいたします。退院時のお支払いはございません。

* 入院時に、この用紙をご持参ください。